

ニセコ魅力新聞

2024年8月15日
田中学園立命館
慶祥小学校
4年生
原 大和

世界中から観光客

ニセコ町は、北海道後志地方虻田郡にある町である。地名は、アイヌ語の「切り立った崖」に由来し、総人口は5065人（2024年6月30日時点）で10〜15%は外国から来た人である。

ニセコ町の一番の魅力は、一年を通して大自然を満喫できることである。ニセコ町は、蝦夷富士と呼ばれる羊蹄山やニセコアンヌ

プリといった山々に囲まれている。また、町の中心には尻別川が流れ、これに昆布川、ニセコアンベツ川、真狩川などが流入するため水環境に恵まれている。年間平均気温は6.3℃で、冬の最深積雪は200cmに達し、北海道でも屈指の豪雪地帯である。

これらの大自然を活用し、夏期には登山やトレッキング、カヌーやラフティ

道の駅でインタビュー



私たちのインタビューに優しく答えてくださったお客さん。

ングといったウォータースポーツ、冬期にはスキーやスノーボードなどのウィンタースポーツを楽しむために、世界中から観光客が訪れている。

今回、田中学園立命館慶祥小学校4年生が、ニセコの魅力を調査するためにニセコを訪れた。

ニセコ町の観光や産業について調査するために、私たちは道の駅ニセコビュープラザを訪れた。まず店内にいたお客さん10組に、ど

こから来たのか、またニセコの魅力などについてインタビューさせていだいた。お客さんのほとんどは地元の人で、札幌市や千葉

県など道内外から来た観光客もいた。

店内には地元で作られた野菜がたくさん売られており、それらを買うために来店している人が多かった。また、ニセコの魅力については、全員が美しい大自然をあげていた。中にはスイス出身で現在はニセコに住んでいるという人もおり、「Niseko is full of beautiful nature. I love Niseko」と笑顔で話していた。

私は、冬にスキーをするためにニセコを訪れたことはあるが、夏に来るのは初めてであった。これらのインタビューを通して、この後体験するラフティングがますます楽しみなになった。

おいしい野菜 安さの秘密

ニセコビュープラザの店内には、たくさん新鮮な野菜が安く売られていた。その理由をお店の人にインタビューさせてもらった。

前述のように、ニセコは尻別川からの水資源に恵まれており、およそ2000haの田畑で様々な作物が生産されている。主な作物は、じゃがいも、米、メロン、アスパラ、トマト、ゆり根などで、これらの生産地に近接するニセコビュープラザでは、生産者さんから直接商品を仕入



安く新鮮なやさいがたくさんだ。

生産者さんにとっても、商品を直接お店に並べることができるのは、お客さんの喜ぶ顔を近くで見られるという利点もあるだろう。お客さんの中には、おいしいメロンを買いに来た地元の人や、お土産に野菜を買いに来たという横浜市からの観光客もいた。このように、ニセコビュープラザは、生産者さんにとってもお客さんにとっても、大事な施設であるということがわかった。

ニセコのスイーツ

ニセコのスイーツといえば、ニセコ高橋牧場のミルク工房で食べられるソフトクリームである。ニセコビュープラザにも店舗があり、ソフトクリームをおいしそうに食べるお客さんがたくさんいた。お店の人がソフトクリームが好きだからここで働いていると話すほどのおいしさだ。

ミルク工房はソフトクリームの他に、シュークリームやロールケーキ、カステラ、チーズタルトを製造しており、これらはどれも素材を活かしたシンプルなものばかりだ。

パウダースノー

スキーヤーの憧れ

インタビューで、スキーをするためにスイスからニセコに移住したお客さんが



ふわふわのパウダースノーと美しい景色が最高だ。

編集後記

ニセコに関する事前学習から体験までを一つの新聞にまとめることで、楽しかった思い出を振り返ることができ、ニセコの素晴らしさを再認識することができた。また、ニセコ以外の北海道の地域についても、も

っと知りたいと思った。

今回の宿泊学習で、インタビューに優しく応じてくださったニセコビュープラザのお店の方やお客さん、楽しい体験をさせてくださったNACの皆さん、お世話になったホテルの従業員の皆さん、バスの運転手さん、旅行会社の方、そして、引率し見守ってくださった先生方、本当にありがとうございました。

大自然に包まれた町 ニセコ



ニセコビュープラザにて、田中学園立命館慶祥小学校4年生と先生方で集合写真撮影。

迫力のラフティング

ニセコビュープラザでの活動の後、楽しみにしていたラフティングに向かった。お世話になったのは、ニセコアドベンチャーセンター（NAC）。NAC

は、立命館慶祥小学校の校庭にあるアスレチックの監修も担当しており、ニセコのアクティビティのパイオニアである。昼食はNACのハンバー

ガー。顔ぐらいの大きさに驚いたが、おいしくてペロリと食べることができた。その後は、ドライスーツとライフジャケットに着替えて、いよいよラフティングをする尻別川へ向かった。グループごとにボートに乗り込み、オールを漕ぎ始めた。はじめは息が合わず、

なかなか前に進まなかったが、声を合わせて舵を取ることでだんだん上手にボートを進められるようになった。途中で、川の中に入っただけで、水はとても冷たかったが、なかなかできない体験でとても楽しかった。また、真夏の暑い時期にラフティングをしたい。